



保育所だより

令和7年2月28日

桑折町醸芳保育所

今年の冬も終わりに近づいてきました。季節外れの暖かな日があったり、寒の戻りがあったりとまだまだ気温は安定していませんが、暦は啓蟄（けいちつ）に向かって確実に進んでいます。

さて、啓蟄（今年は3月5日）が近づくと三寒四温を肌で感じ、日増しに春の訪れを実感してまいります。同時に、醸芳保育所閉所及び子どもたちの修了まであと一か月となりました。子どもたちはこの一年間、体も心も大きく成長しました。これもひとえに保護者の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。2歳児さんは4月からこおり青空こども園と醸芳幼稚園へ、0・1歳児さんは多くのお子さんが、こおり青空こども園へ移動します。この一年間の楽しかったことや嬉しかったことが、よい思い出となり、子ども達の心に残っていくことを願っています。保護者の皆様には、この1年間With+After コロナの保育活動(特に各種感染症対応において)におきまして、ご理解とご協力をいただきましたこと、更に醸芳保育所最後の1年を楽しく、そして有意義に過ごして頂きましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<今月の目標>

0歳児

- 冬の感染症に気をつけ健康に過ごす。
- 保育者や友達と遊ぶ中で、身振りや仕草、喃語等で自分の気持ちを表現する。

1歳児

- 新しいこども園への入園に向けて、期待や喜びを持って、楽しく過ごす。
- 身近な自然の変化に興味や関心を持ち、春の季節を感じて遊ぶ。
- いろいろな行事に参加したりごっこ遊びなどをしたりする中で、みんなと一緒に過ごす楽しさを感じる。

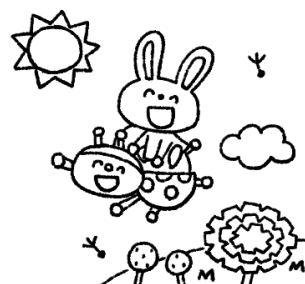
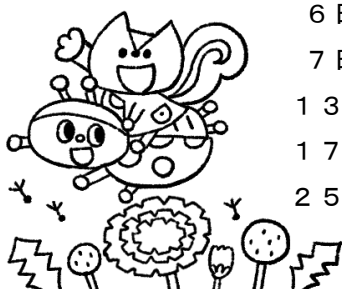
2歳児

- 身近な自然の変化に興味や関心を持ち、春の季節を感じて遊ぶ。
- 入園に喜びを感じ、期待をもって過ごしたり身の回りのことを自分でしようとしていたりする。保育者や友達と遊ぶ中で、言葉で表現したりやりとりをしたりすることを楽しむ。



<3月の行事予定>

- | | |
|--------|---------------|
| 3日(月) | ひな祭り |
| 4日(火) | 入園前幼保交流会(2歳児) |
| 6日(木) | 誕生会 |
| 7日(金) | お別れ散歩 |
| 13日(木) | お楽しみ給食 |
| 17日(月) | 避難訓練 |
| 25日(火) | 修了式 |
| | PTA総会(書面) |



3月の
合同保育室は、
ちゅうりっぷ組です

< 保 育 所 からのお知らせ・お願い >

【諸連絡】

☆3月25日(火)の修了式後の26日(水)～31日(月)も保育を行います。後日、保育利用希望調査を配布します。

☆保育所の着替えを借りている方は、忘れずに返却してください。

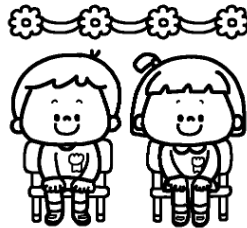
☆病児・病後児保育、一時預かり保育を利用した方は、利用助成申請書に領収書を添付して早めに教育文化課へ申請してください。(申請書は保育所にもあります。)



修了式について

3月25日(火)の修了式は、
2歳児とその保護者のみの
出席となります。

午前中に式を開催します。
対象児に通知をお配りした
ので、ご覧ください。



髪の高いお子さんへお願い

髪を結っての登所をお願いします。
給食時、器の中に髪の毛が入ったり、
口の中に入り込んだりします。一本結
びで構いません。なお、気を付けてい
ますが、ゴムを紛失してしまうことも
ありますのでご了承ください。

< 各 ク ラ ス よ り >

たまご組

早いもので、あと1か月で、醸芳保育所で過ごす日々も終了となり、4月からは新しい『こおり青空こども園』へ入園するようになります。ベビーベッドで寝ていたお友達も、ハイハイからつかまり立ちを経て最終的には歩けるようになっていきます。その過程を目の当たりにし「子どもの成長ってすごいな～」と日々感心させられています。残りわずかとなりましたが、一人一人が安心して過ごせるように、精一杯かかわっていきたいと思います。また新しい『こおり青空こども園』での活躍を楽しみにしております。

←歩けるようになったよ～→



ちゅうりっぷ組

ようやくちゅうりっぷ組の生活に慣れてきて、自分らしさを出してきたり、かわいいわがママを訴えてきたりする姿が見られるようになってきました。毎日遊戯室に出かけています。保育



↑せんせいどうぞ

室での、おもちゃの片づけが始まると、次は靴下をはき、ズックを履くという流れがわかってきて、自分で履こうとしているお友達もいます。お帰りの会でも、ちょっとした間なら腰を下ろして待とうとしている姿もあり、日々成長を感じています。戸外に出るときには、早く遊びたくて、みんなが靴を履かせてもらうまで、待ってられないほどです。滑り台も一人で登って楽しめる様になってきました。かわいいちゅうりっぷ組さんの姿をお知らせできる機会もこれでおしまいになってしまいました。『こおり青空こども園』に行ってもどうか元気で、大きくなってください。



↑お部屋で雪遊び

すみれ組

節分があり鬼の的あてを何度も楽しみました。「おにはそとー！」と保育者の真似をして鬼の絵やお面に向かってボールや新聞紙で作った豆を投げていました。最初は鬼が怖くて泣いていたお友達も少し



↑ 雛段飾りの前で

ずつ慣れてたくましいすみれ組です！お医者さんごっこが大好きなお友達が多く、ぼぼちゃん人形やメルちゃん人形を患者さんに見立ててお医者さんになりきり、注射をしたり人形の体温を測ったり胸の音をももしたり…とても楽しんでます。将来は立派なお医者さんかな♪すみれ組での生活も残すところあと1カ月となりました。3月も健康に気を付け元気いっぱい過ごしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします！



↑ 雪遊びに夢中

ゆい組

登所後、身の回りの始末を保育者と一緒に取り組んでいる子ども達です。進んで取り組む子、「タオル掛けて来て～」と言ってタオルを渡す子と「ハ～イ」と言って保育者にタオルを戻してくる子と様々です。(笑)



でも、自分でやりたい！という気持ちは一人ひとり育っているなあ～と感じています。

節分の豆まきでの様子！大きな赤鬼が登場すると、保育者の背中に隠れる子、号泣する子、勇敢に球をぶつける子と様々でした。ホームページでご覧になったかと思いますが、最後に神様が赤鬼を退治し一件落着！その後、部屋に入ると「せんせい、ありがとう」の子ども達からの一言に感動した担任でした。



↑ 豆まきで鬼を見据える凛々しい横顔 ↑

ひまわり組

雪の日には、所庭でそり滑りをしたり、雪や氷に触れて遊んだりして、冬の自然に親しみました。室内では、油粘土(やわらかめの物です)をこねたり、折り紙を折って制作したり、スタンプ遊びをしたりして、手先を使って遊べるようにしていきました。また、うがいや着脱やトイレなど、生活のことも頑張っているところなので、引き続き、一人



↑ そりすべり気持ちいいね



ひとりに合わせて、援助していきます。

保育所生活最後の月になり、少しずつ、保育所が終わりになること、大きくなったことが感じられるよう、声かけをしているところです。だんだんと修了式の練習が始まっていくので、大きな声でお返事をすることや、格好よく歩くことなども、遊びの中で楽しみながら経験できるようにしていきます。

← ねんどを丸めるよ～

さくら組



2月はようやく雪が積もり、雪遊びを思い切り楽しむことができました。築山でそり滑りをしたり、雪だるまやかまくらを保育者と一緒に作ったり、雪でままごとをしたり…。所庭一面に氷が張った日は滑って転びながら、雪と氷の違いを感じ、ツルッと滑ってみたりぶ厚い氷を集めてみたりしていました。「見て～(スコップに)くっついた!」「オラフ、溶けちゃったね～」「手袋びちよびちよになっちゃった～」などお話ししながら、雪や氷の冷たさや形を変えていく不思議さ、温度によって溶けていく様子など、実際に経験して体感することができたようです。

いよいよ保育所で過ごす日々も残り一か月となりました。子ども達なりに

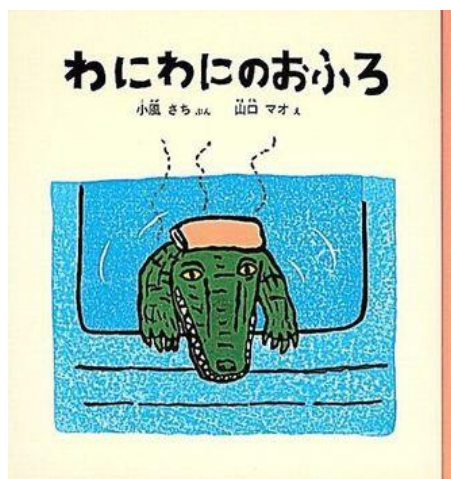
入園

を感じ、嬉しく思ったり不安を感じたりする時期です。自信をもって新しい環境へと飛び込んでいけるよう、温かく見守りながらできるようになったこと、大きくなったことなどたくさん褒めて認めて、安心して生活できるようにかかわっていきます。

↑そり滑り →オラフと記念撮影



家庭生活ポイント 「生活リズム」「あいさつ」「読書」…より
最終回は、ちゅうりっぷ組とたまご組から小さなお子さんも楽しめる絵本をご紹介します。



わにわにのおふろ

(福音館／ 作 小風 さち子
絵 山口 マオ)

ワニの「わにわに」は、お風呂が大好き。お湯につかり、おもちゃで遊び、シャワーをマイクにして歌います。怖いはずのワニですが、擬態語の表現がたくさん出てきて、とてもかわいらしく表現されています。こどもたちはニコニコしながら最後まで楽しんでいきます。読み終わるとみんなが笑顔になれる絵本です。(ちゅうりっぷ組)



バスにのって

(世界文化社／ 作 谷口 國博
絵 市原 淳)

『バスにのって』の絵本は、歌の歌詞を絵本にしたもので、歌を歌うたびにたまご組の子も『ゴーゴー』と拳を上げノリノリです。たまご組くらいの子でも歌と連動した絵本はイメージがしやすいようです。ぜひ絵本と共に歌も歌ってあげてください。(たまご組)